

平成30年6月9日(土) 正午

豊川海軍工廠

平和公園開園

かつて東洋一の兵器工場とも称された豊川海軍工廠があった場所に、戦争遺跡を保存活用した豊川海軍工廠平和公園が開園します。

この場所は、昭和20(1945)年8月7日の空襲で二千五百人以上が犠牲となるなど、悲しい歴史を刻んだ場所でもありません。

公園内には、歴史の生き証人である海軍工廠の火薬庫や信管置場などの戦争遺跡や、海軍工廠の歴史などを紹介する平和交流館があります。この公園を訪れ過去の歴史を学び、平和の尊さについて考えてみませんか。

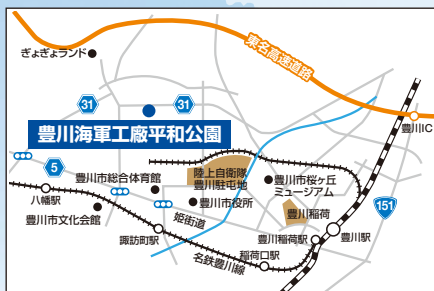
開園記念シンポジウム

日時 ●平成30年6月24日(日)
午後1時30分から
会場 ●豊川市文化会館中ホール
入場料 ●無料

※詳細は裏面をご覧ください

豊川市豊川海軍工廠平和公園

開園時間 ●午前9時～午後5時
6/9(土)は正午から
休園日 ●火曜日(祝日の場合は開園)
年末年始(12/29～1/3)
入園料 ●無料
場所 ●愛知県豊川市穂ノ原三丁目13-2



- 車** 東名高速「豊川IC」から約10分(駐車場約60台)
- 電車** 名鉄豊川線「諏訪町」駅下車徒歩約30分
- コミュニティバス** ゆうあいの里小坂井線「穂ノ原三丁目西」下車徒歩約5分

◎豊川海軍工廠

豊川海軍工廠は、日中戦争から太平洋戦争へと戦局が進む昭和14(1939)年12月15日、全国で6番目の海軍工廠として開庁しました。海軍の航空機や艦船などが装備する機銃とその弾丸を主要な生産品とし、最盛期には5万人以上の人々が働く巨大兵器工場でした。しかし、昭和20年8月7日の空襲で壊滅的な被害を受け、そして終戦により兵器工場としての短い歴史を終えました。戦後、空襲の悲劇は、悲しい出来事として多くの人々の記憶に残り、語り継がれてきました。

豊川海軍工廠平和公園案内



豊川市平和交流館

海軍工廠の歴史や戦争遺跡の解説展示、映像資料の視聴や講座などを行うガイダンス室があります。



旧第一火薬庫

海軍工廠時代に使用された火薬庫の建物で、コンクリート造の構造体に土をかかれています。



旧第三信管置場

海軍工廠時代に使用された信管置場の建物で、爆発事故が発生した際に回りに被害を出さないよう、建物の周囲に土塁を設けています。



豊川海軍工廠平和公園平面図

● 工廠当時の街路灯



防空壕跡

素掘りの小型の防空壕跡3基を現状保存・展示しています。



遊具広場

遊具と絵日記「工廠のあんちゃん」パネル展示があり、親子で海軍工廠当時の様子を学ぶことができます。



センター広場

公園の中心に、恒久平和を願い桜(ソメイヨシノ)が植えられています。



街路灯

海軍工廠時代に使用された街路灯8基を、元位置及びその近くに保存展示しています。

開園記念シンポジウム

日 時 ● 平成30年6月24日(日) 午後1時30分から
会 場 ● 豊川市文化会館中ホール(豊川市代田町一丁目20-4、0533-84-8411)
入 場 料 ● 無料、当日会場で先着順に受付、定員400名

内 容

1部 記念講演「豊川海軍工廠と豊川市」

講師: 藤田佳久氏(愛知大学名誉教授)

基調報告①「平和公園内の豊川海軍工廠残存遺構の保存整備について」

講師: 泉田英雄氏(元豊橋技術科学大学准教授)

基調報告②「豊川海軍工廠の戦争遺跡と平和公園開設までの経緯」

講師: 平松弘孝(豊川市教育委員会生涯学習課)

2部 シンポジウム「平和公園と豊川海軍工廠の語り継ぎ」

コーディネーター: 藤田佳久氏

パネラー: 泉田英雄氏、大石辰己氏(ハ七会会長)

伊藤泰正氏(豊川海軍工廠跡地保存をすすめる会会長)、平松弘孝

豊川海軍工廠語り継ぎボランティア

平成29年度に養成講座を受講した豊川海軍工廠語り継ぎボランティアによる、平和交流館や園内のガイドをご希望に応じて行います。

お問合せ

豊川市教育委員会生涯学習課

〒441-0292 愛知県豊川市赤坂町松本250

TEL ● 0533-88-8035

FAX ● 0533-88-8038

E-MAIL ● gakushu@city.toyokawa.lg.jp